

たつくし
竜串自然再生協議会の取組

1 再生内容

サンゴ群集の再生

海底に堆積した泥土除去のほか、森林や河川からの土砂流出や生活排水など流域からの環境負荷への対策を通じて、サンゴ群集の再生に取り組む。

2 自然再生協議会

平成18年9月に組織化し、現在の構成員数72。

個人(専門家を含む)27、団体18、関係地方公共団体21、関係行政機関6

3 自然再生全体構想

平成20年3月に作成。

○自然再生の対象区域

対象区域(竜串湾全域320ha)と関連する区域(三崎川～宗呂川流域)の両区域。

○自然再生の目標

竜串湾内に本来生息しているイシサンゴ類をはじめとする多くの生き物が健全な状態で生き続けていける環境を取り戻すことを目指す。

①沿岸生態系の保全と再生(対象区域及び関連区域)、②自然と共生した活力ある地域づくり(地域社会)の2つの個別目標を設定。

4 自然再生事業実施計画

○竜串自然再生事業実施計画

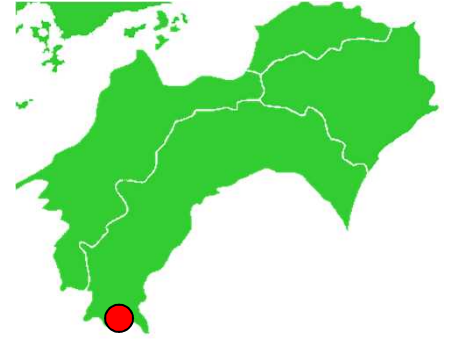
(平成22年1月作成、実施者：環境省中国四国地方環境事務所)

全体構想の区域において、①豊かなサンゴ群集の保全と再生②海底の物理的・化学的環境の改善③持続的な自然環境の利用と地域産業の活性化④地域の多様な主体の参加と連携の推進を実施。

【進捗状況】

泥土堆積の著しい区域において、海底堆積土砂の除去を実施(約2.15ha)。また、サンゴ保全に資するため海域の水質等の調査・モニタリングを実施。

たつくし
竜串自然再生協議会



- 対象区域(海域)
320ha
- 関連区域(陸域)
7,780ha

自然再生の対象となる地域(全体構想より:8,100ha)



下層植生が発達していない
ヒノキ林地の林床(西の川流域)
(間伐等の森林整備を実施)



植生の回復が見られない崩壊地
(西の川流域)
(治山による植生復元を実施)



降雨時の西の川と三崎川の合
流点の状況
(左:西の川、右:三崎川本川)



衰退したサンゴ群集



海底に堆積した泥土
(吸引による泥土の除去実施)